

「親子で体験 健康教室」 その意義と今後の課題

鹿児島県 始良郡医師会 学校・母子保健委員

佐藤 昭人

学校・母子保健担当理事

田代 達也

学校・母子保健委員

鬼丸 高恒

会長

八木 幸夫

鹿児島県医師会 会長

池田 琢哉

～目的～

始良地区内の医療関係者が
学校を訪問し、学校関係者、
児童生徒、保護者が一体となり、
種々の体験を通じ、健康について
考え、学ぶ事を目的としている。



体験健康教室の変遷

平成元年～2年

始良地区内の小中学校の親子・養護教諭などを対象に親子心臓教室や栄養相談などを実施。

平成3年～13年

学校を訪問し、「小児生活習慣病と血圧」「超音波」「心電図」「放射線」「栄養」「たばこ」の6つの教室を実施。

平成15年～

「手洗い・うがい」の教室を追加

平成16年～

「歯科」の教室を追加

平成17年～

「こころ」の教室を加え「こころ」「栄養」「超音波・放射線」「手洗い・うがい」「たばこ」「小児生活習慣病」「歯科」の7つの教室に再編成する。



会の運営次第

- 9:00 開会行事
9:25 教室開始
 A: ころろ
9:45 班ごとに各教室へ移動
9:55 B: 栄養
 C: 超音波・放射線
 D: 手洗い・うがい
 E: たばこ
 F: 小児生活習慣病
 G: 歯科
12:30 全体会
 (1) ヘルシーランチ
 (2) 懇談会
13:20 閉会行事(受講証授与)
13:30 閉会 ~アンケート 回収~



こころの教室

親の教室



こどもの教室



栄養の教室

砂糖水を使って
味覚の実験



実際の食品で油・塩
分・砂糖の量の確認



超音波・放射線の の教室



体の色々な部位を
見てみよう

← 実際の画像を
間近で体験



うがい・手洗いの
教室



教えてもらったとおり
手を洗ってみましょう

グリッターバグで確認

たばこの教室



たばこの害を学習

ニコチン液に
みみずを入れると...

小児生活習慣病 の教室



小児生活習慣病とは・・・

親子で血圧を
測ってみよう



歯科の教室



虫歯になる仕組みを学ぼう

お口の中のバイ菌を
見てみよう

質疑・応答



ヘルシーランチ



受講証授与



参加者数

年度	参加者	年度	参加者
H1	125名	H13	119名
H2	135名	H14	中止
H3	235名	H15	122名
H4	204名	H16	87名
H5	220名	H17	126名
H6	145名	H18	137名
H7	178名	H19	150名
H8	151名	H20	186名
H9	158名	H21	中止
H10	161名	H22	157名
H11	185名	H23	101名
H12	167名		

中学校での開催を
計画したが実施に
至らず

新型インフルエンザ
流行の為



意義

- ① 早い時期に健康に対する意識を高める事ができる。
- ② 保護者と子供と一緒に健康教室を体験する事で絆も深まり、健康に対する取り組みがスムーズになる。
- ③ ボランティアで学校の負担金もなく実施しており医療関係者の熱意が伝わり、円滑な学校保健活動につながる。
- ④ 歯科医師会や薬剤師会の協力を得る事により、学校保健活動での三師会の連携が深まる。
- ⑤ 学校行事にかかわる機会の少ないコ・メディカルの人たちと学校保健について意見を交える事ができる。



課題

- ① 当日参加できなかった人たちへの内容伝達の方法が構築されていない。
- ② 教室開催後も健康に対する取り組みが継続してなされているか等のフォローがされていない。
- ③ 年1回の開催のため地区内全校での開催が困難である。
- ④ 中学生に対する健康教育も重要であり、中学校開催に向けた方策の検討が必要である。
- ⑤ 学校保健に対する学校医の熱意に差があり学校医の参加者が少ない。

